

キャラクター名
 夢騒かなみ (むそう かなみ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	転校生
オプション	オルクス	年齢	16	性別	女性
覚醒	忘却	衝動	吸血	初期侵食率	46%
出自	親戚と疎遠	経験	古強者	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《赫き剣》	白兵	5r+5		9		1点消費時
《赫き剣》	白兵	5r+5		16		8点消費時
60↑ HP消費1点	白兵	8r+5		29		《縮地》使用時。HP2点消費
60↑ HP消費8点	白兵	8r+5		36		《縮地》使用時。HP2点消費

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
蛇王の外套		7			D。ウロボロスのエフェクト1つ取得

所持品	
思い出の一品	
携帯電話	
制服	
カジュアル	
カッターナイフ	

合計装甲: 7 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
D:遺産継承者	P	N		
経験: 姫野琴音 (ことつち)	P 庇護	N 劣等感		
邂逅: 藤原銀 (ふーさん)	P 友情	N 悔悟		
シナリオ: 『スターダスト』	P 有為	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
縮地	4	2	オート					LV/シナリオ
効果: 移動時使用。離脱可任意の場所へ								
バックスタブ	4		常時					
効果: 《縮地》使用MP中攻撃力+[LV*5]。エフェクトレベルアップなし、侵食基本値+4								
赫き剣	3	3	マイナー					
効果: 使用時[LV*2]点以下のHP消費し武器作成								
コンセ:ブラム	2	2	メジャー					シンドローム
効果:								
鮮血の一撃	1	2	メジャー	武器				白兵
効果: ダイス+[LV+1]個。HP2点消費								
原初の赤:一閃	1	2+1	メジャー					白兵
効果: 全力移動後白兵攻撃								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体			LV/シナリオ
効果: ダイス一つを10に変更								
ブラッドリーディング	1							
効果: ぺろぺろ								
かぐわしき鮮血	1							
効果: くんくん								
猫の瞳	1							
効果: ぴかーん								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

PL: Ryo アバター: カナ・アナベラル

D:遺産継承者
 蛇王の外套: 古代の王が悪魔と契約して得た外套。契約者の双肩には蛇の痣が浮かび、あらゆる知識を授けるといふ。契約者は次第に良心を失い冷徹になっていく。

ぼわぼわしてる女の子。ぼーっとするのが趣味みたいなもの。可愛いものや甘いものが好き。
 独自のあだ名をつけて呼ぶ。
 ・柏崎愛→かつしー
 ・桜井幽→さーさん
 ・月詠夜那魅→みーみー
 ・春日舞→すがさん

幼少期の記憶を失っており、覚えているのは血の海の真ん中で満たされながら、怖い顔をした人たちに囲まれている場面。彼らがUGNという組織のオーヴァードだと知ったのは、回収されてからのこと。その時羽織っていたのが、遺産と呼ばれるものの一つ、「蛇王の外套」。契約者にあらゆる知識を授けるといふ言い伝え通り、普通のオーヴァードにはできないような戦い方を身につけていく。UGNに回収された後はUGNチルドレンとして育てられた。そこで出会った藤原銀(愛称:ふーさん)と仲良くなる。そのおかげで大きな問題もなく成長していったかに見えた。そのうちチルドレンの後輩もでき、彼らの面倒を見ることもあった。